

I. 概要（常務理事会活動）

本連合の学術団体としての威信を高めるために、日本学術会議協力学術研究団体の指定申請を行った。指定要件を満たすために個人会員を増やすキャンペーンを行った結果、個人会員の新規加入は 28 人となった。大学スポーツに関する研究も増えていることから、研究フォーラムと研究誌の名称を「大学体育スポーツ研究フォーラム」「大学体育スポーツ学研究」に変更した。

研修の面では、例年同様に全国と支部で研修会を 10 回開催し、研修精励賞 4 名、同特別賞 2 名を表彰した。関係団体との連携事業としては、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会と連携協定を結び、インターカレッジ・コンペティション 2018 の募集に協力した。日本プロゴルフ協会・ゴルフ市場活性化委員会との 3 者連携の一環として、日本ゴルフ用品協会からゴルフクラブの無償提供を受け、12 大学に合計 547 本を配布した。

外部資金の獲得と経費節減、組織運営の効率向上に取り組んだ結果、収支が改善し、記念事業などの準備資金を積み立てることができた。

II. 詳細

II-1 【公益目的事業】

1. 公 1：大学教育及びその他の高等教育における体育・スポーツ、保健教育に関する調査や研究を支援、助成し、優秀な調査や研究、教育、FD 活動を推進する事業

(1) 助成事業（事業種類 09）

1) 大学体育研究助成：調査研究部

平成 31 年度研究助成審査

（結果）4 件（一般課題 2 件、特定課題 2 件）

1. 研究代表者：笹井 浩行（東京大学）

研究課題：大学体育授業の楽しい思い出は健康日本 21 の歩数目標値の達成と関連するか？

2. 研究代表者：小林 雄志（岡山大学）

研究課題：英語による大学体育授業実施能力を向上させるための e ラーニング教材開発

3. 研究代表者：長谷川 望（東京家政大学）

研究課題：歩数計測アプリケーションを利用したウォーキング指導が初年次大学生のウェルネス及びライフスキルの及ぼす影響

4. 研究代表者：片岡 悠妃（青山学院大学）

研究課題：大学体育授業における教授行動分析を用いた実践的振り返り

各課題 20 万円の助成

(2) 表情事業（事業種類 01）

1) FD 推進校制度：FD 推進部

FD 推進校制度 2 部門の募集を実施した。応募校は、FD 優秀校、1 校、FD 推進校、1 校であった。

審査の結果、FD 推進校に茨城キリスト教大学を決定し、FD 優秀校 1 校は、審査継続中である。

2) 大学体育優秀論文賞：大学体育学編集委員会

大学体育優秀論文賞として以下を表彰および決定した。

東海林祐子、島本好平「大学体育におけるライフスキル獲得のための授業支援ツール体育ノートの導入とその効果の検討」大学体育学 第 14 号 pp 3-15（2017 年 3 月発行）

瀧本真己、木内敦詞、石道峰典、中村友浩、西脇雅人「大学体育実技授業の振り返り文章数を多く記述するほどライフスキルの獲得が促進される：大学体育授業を対象とした縦断研究」大学体育学 第 15 号 pp 3-11（2018 年 3 月発行）

3) 大学体育研修精励賞：研修部

研修精励賞として勝亦陽一氏（東京農業大学）、福士徳文氏（慶應義塾大学）、金田晃一氏（千葉工業大学）、

小林雄志氏（岡山大学）、研修精励特別賞として、北 徹朗氏（武蔵野美術大学） 富岡 徹氏（名城大学）を決定した。

4) 大学体育優秀教員賞：FD 推進部

大学体育優秀教員賞の募集を行ったが、応募は無かった。

5) 大学体育教育賞：総務部

大学体育教育賞として、宮口和義氏（石川県立大学）を決定した。

6) 全国大学体育連合賞：総務部

全国大学体育連合賞として、小林勝法氏（文教大学）を決定した。

2. 公 2：大学教育及びその他の高等教育における体育・スポーツ、健康・保健教育に関する調査、研究等の資料や情報の収集とその成果を研究会や研修会、講習会、機関誌、情報誌により一般公衆に提供する事業

(1) 研究事業（事業種類 07）

1) 機関誌『大学体育』（111号6月・112号12月）編集・発行：編集出版部

取材・出張（会議・編集に関わる記録作成など）

- (1) 第9回指導者養成研修会（武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス） 3月2日～4日
- (2) 総会（青山学院大学 青山キャンパス） 3月21日
- (3) 全国研修会（中四国支部：環太平洋大学） 8月28日～8月30日
- (4) 編集会議 5回（於：明宏印刷）

2) 研究論文誌『大学体育学』編集・発行：大学体育学編集委員会

- (1) 研究論文誌『大学体育学』第15号の発行（2018年3月）
- (2) 研究論文誌『大学体育スポーツ学研究』第16号の編集作業（2019年3月発行予定）

3) 研究集会「第6回大学体育研究フォーラム」の開催：大学体育関連情報調査チーム

平成30年3月1日に目白大学新宿キャンパスで開催し、51人が参加し、13件の発表があった。

(2) 研修会事業（事業種類 09）

1) 平成30年度大学体育指導者全国研修会の開催：中四国支部・研修部

- ・期 日：8月28日～30日（3日間）
- ・会 場：環太平洋大学
- ・後 援：スポーツ庁
- ・内 容：

<講演会>

- 講演1 福本浩一（スポーツ庁参事官（地域振興担当）付企画官）演題「スポーツ行政の概要」
- 講演2 安西祐一郎（全国大学体育連合会長、日本学術振興会顧問）演題「人間の情報処理と体育」
- 講演3 和田智仁（鹿屋体育大学）演題「情報機器を活用した大学体育」
- 講演4 鈴木久雄（岡山大学）演題「大学体育における e-Learning を活用した身体活動増進プログラム」

<実技研修・講師>

- ①ゴルフ 井上建夫（日本プロゴルフ協会副会長）
- ②フィットネスエクササイズ 田中 淳（環太平洋大学）、國友亮佑（同）、小澤尚子（同）、前川真姫（同）
- ③フライングディスク 大島 寛（近畿大学）

<ワークショップ>

「大学体育における情報機器の活用法」 講師 早田 剛（環太平洋大学）、飯出一秀（同）

- ・参加人数：20名（講師・スタッフを除く）

2) 第9回大学体育指導者養成研修会の開催：研修部

- ・期 日：3月2日～4日（3日間）
- ・会 場：武蔵野美術大学鷹の台キャンパス
- ・後 援：スポーツ庁

・内 容：

＜特別講演＞

演者：白尾隆太郎（武蔵野美術大学）

演題：スポーツと美術－ピクトグラムを利用したスポーツの表現－

＜基調講演＞

演者：木内敦詞（筑波大学） 演題：大学体育授業の振り返りと改善のための実践

＜ワークショップ＞

演者：小林勝法（文教大学） 演題：教養体育におけるティーチング・ティップス

研修種目：ゴルフ、卓球、フットサル、ピラティス

体験種目：ボッチャ

・参加人数：31名（講師・スタッフを除く）

3）研修会の実施に要する外部資金調達に関わる活動：研修部

日本スポーツ振興センターくじ助成金を獲得し、指導者養成研修会の運営に活用した。

第10回指導者養成研修会開催分（1,570,000円）も採択済

日本スポーツ振興センターくじ助成金を獲得し、指導者養成研修会の運営に活用した。

4）第6回スポーツ健康系学科長協議会の開催：渉外部

・期 日：5月19日（土）

・会 場：日本大学理工学部駿河台校舎 151教室

・後 援：スポーツ庁

・内 容：

体育・スポーツ・健康系学科や課程が共通してかかえている課題を協議し、大学体育の発展に資することを目的とし、今回は、大学における地域貢献・地域連携に関わる課題をテーマとした。

・参加人数：38名（会員32名、非会員6名）

5）第2回大学スポーツ局長全国協議会の開催：大学スポーツ推進特別委員会

7月28日（土）に日本体育大学世田谷キャンパスで開催した。54名が参加した。

6）第3回するみるささえるスポーツ教育研究会の開催：大学体育関連情報調査チーム

平成30年7月7日に北海道武蔵短期大学（札幌市）で開催し、12人が参加した。

7）JSC主催スポーツキャリアトーク出展およびパネルディスカッション開催：大学スポーツ推進特別委員会

2018年1月9日にNTCで開催された上記コンベンションに置いて、JSCからの要請に応じて、アスリートキャリアサポートに取り組んでいる5大学のポスター展示をとりまとめ、その5大学によるパネルディスカッションの企画・司会を小林委員長が行った。

8）アスリート学生のための「7つの習慣」無料体験セミナー：大学スポーツ推進特別委員会

3月21日に青山学院大学で開催した。

(3) 調査、資料収集事業（事業種類 07、09）

1）大学体育に関する調査の実施と報告書の作成：調査研究部

これまで行ってきた大学体育教育実態調査と体力測定結果調査を統合した調査を行い、報告書にまとめた。

2）大学体育関連情報マンスリーレポートの発行：大学体育関連情報調査チーム

12回発行した。（メールニュースで通知し、ホームページに掲載した。）

3）「大学スポーツ推進に関する学生意識調査」結果の公表：大学スポーツ推進特別委員会

2017年9月から11月に18大学・4短期大学の協力を得て実施したアンケート調査（6,203人回答）の報告書をホームページに掲載した。

4）ラグビーワールドカップ2019組織委員会との連携：地域貢献推進WG

・ボランティアプログラム（募集要項）について、大体連メールニュースで広報した。

・ボランティア募集東京説明会（5月8日、上智大学）に協力し、大体連メールニュースで広報した。

5) ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会との連携：地域貢献推進WG

- ・3月21日に連携協定を締結した。
- ・インターカレッジ・コンペティション 2018 の募集案内を大体連メールニュースとホームページで広報した。

6) 日本プロゴルフ協会・ゴルフ市場活性化委員会との3者連携：地域貢献推進WG

- ・ゴルフクラブ提供 申請大学数 12校、合計 547本 (2018年1月~8月)

7) ティーチング・ティップスの収集と公表：大学体育関連情報調査チーム

教養体育実技のティーチング・ティップスをホームページに掲載した。

8) 学生、スポーツ選手を対象とする暴力団排除教養DVDの広報：大学体育関連情報調査チーム

警視庁から依頼を受け、暴力団の被害にあわないように啓発するDVD「あなたは狙われている！」(2話、合計42分)について大体連メールニュースで広報した。

9) 『オリンピック名鑑』(フォート・キシモト作成) 割引販売の広報：大学体育関連情報調査チーム

フォート・キシモトのご厚意により会員へ2割引で販売できることになり、その広報をスポーツ健康系学科長協議会や大学スポーツ局長全国協議会、メールニュースなどで行った。

10) 関連団体の情報収集と情報発信：渉外部

- ・健康日本21推進全国連絡協議会の情報収集と情報発信
- ・健康日本21推進全国連絡協議会関連分科会への出席
- ・ICHPERSD(国際保健体育レクリエーション・スポーツ・ダンス協議会)からの情報収集とメールニュースによる情報発信
- ・ICSSPE(国際スポーツ科学体育協議会)からの情報収集とメールニュースによる情報発信
- ・ICSSPE(国際スポーツ科学体育協議会)からの退会手続き
- ・スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアムへの入会、メールニュースによる情報発信

11) パンフレットのリニューアル：広報部

12) ホームページによる情報発信と管理：広報部

ホームページの管理・更新

月別アクセス数

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
総数	10,232	10,802	11,004	8,841	11,298	10,541	11,408	8,546	8,400	9,817	8,362	7,186
前年	12,951	10,236	13,338	12,339	10,654	12,761	11,440	11,320	12,346	13,200	13,800	10,373

13) メールニュースの定期配信：広報部

配信 85件、登録者数 1,503人 (12月31日現在)

14) 会員専用ページによる情報発信：広報部

会員専用ページの利用方法を検討し、更なる活性化を図った。配信 4件、登録者数 206人 (12月31日現在)

15) 新規会員開拓のための広報活動：広報部

16) 「大学における課外スポーツ支援Q&A」のHP掲載：大学スポーツ推進特別委員会

17) 行政への協力：大学スポーツ推薦特別委員会

- ・スポーツ庁「大学におけるスポーツとスポンサーに関する検討会」に小林専務理事が委員として参加した。
- ・スポーツ庁「日本版NCAA設立準備委員会作業部会」に小林専務理事が部会主査として参加している。

18) 大学スポーツ推進に関する記事：大学スポーツ推薦特別委員会

- ・小林専務理事、「日本版NCAAとは何か~将来と現状の課題について~」リクルート『カレッジマネジメント』209号
- ・小林専務理事、「大学の眠れる資源『スポーツ』を活かす」『教育学術新聞』4月11日付(日本私立大学協会の機関紙)
- ・小林専務理事、「大学スポーツと指導者」公明新聞、6月6日付
- ・小林専務理事、「論点：日大アメフト部問題、スポーツから大学改革を」毎日新聞、6月20日付

19) 支部研修会の開催：北海道支部

期 日：7月7日(土)

会 場：北海道武蔵女子短期大学

内 容：第3回するみるささえるスポーツ教育研究会兼北海道支部研修会

講 師：林恒宏（大阪成蹊大学）、小林秀紹（札幌国際大学）

参加人数：12名

20) 支部研修会の開催：東北支部

期 日：2月28日（水）～3月2日（金）

会 場：八甲田スキー場

宿 泊 先：酸ヶ湯温泉旅館

〒030-0111 青森市大字荒川字南荒川山国有林小字酸湯沢50

内 容：①講演 浜田信彦（元酸ヶ湯温泉ツアーガイド）

テーマ：バックカントリーにおけるリスクマネジメント、装備品の取り扱いについて、
八甲田の自然とバックカントリー用具の最新事情

②情報交換会：大学におけるスノースポーツ実習の取り組み

③実技研修：八甲田周辺でのバックカントリー実習

参加人数：17名

21) 支部研修会の開催：関東支部

1. 第1回研修会：「スポーツボウリング」

期 日：9月3日（月）10:00～17:00

会 場：流通経済大学新松戸キャンパス、ラウンドワン新三郷店

内 容：ボウリング授業運営、スポーツボウリングに関する理論、実技研修（投球方法）

講 師：和田 智（獨協大学）

2. 共催シンポジウム：慶應義塾大学体育研究所・（公社）全国大学体育連合関東支部共催シンポジウム

「スチューデント・ファースト」による大学体育・スポーツ振興を目指して

期 日：12月1日（土）16:00～17:30

会 場：慶應義塾大学日吉キャンパス、体育研究所2階

内 容：コーディネーター 村山光義（慶應義塾大学体育研究所）

北徹朗（武蔵野美術大学・（公社）全国大学体育連合研修部長）：

「大学スポーツ振興を一般学生の立場から考えるースチューデント・ファーストの課題と提言ー」

水島 寿思（慶應義塾大学総合政策学部・（公財）日本体操協会男子強化本部長）：

スポーツ現場から見る大学スポーツの現状と今後の在り方

福士 徳文（慶應義塾大学体育研究所）：

教養体育およびスポーツ振興活動の中のスチューデント・ファースト

22) 支部研修会の開催：東海支部

1. 冬期スノースポーツ研修会

研修内容：スキー・スノーボード研修会

期 日：12月26日（水）～28日（金）2泊3日 現地集合・解散

会 場：平湯温泉スキー場・ほおのき平スキー場

宿 泊 先：平湯温泉「平湯プリンスホテル」（〒506-1433岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯128-6 電話0578-89-2323）

内 容：①楽しく安全な滑走技術とその指導方法について

②アルペンスキー技術またはスノーボードの最新技術について

参加人数：36名

23) 支部研修会の開催：北陸支部

1. 平成30年度支部研修会

テ ー マ：ゴルフ実技研修（フォアサム）によるラウンド体験

期 日：9月3日（月）～4日（火）

会 場：石川県千里浜カントリークラブ、ゴルフ倶楽部金沢リンクス

内 容：実技研修①：クラブ選択、コース攻略法等について学んだ。

実技研修② 新ルール導入でのラウンド研修

講義内容：①「新ルールの理解と用具の進化について」

2019年1月1日、ゴルフの新ルールが導入される。プレーのスピードアップと、複雑なルールの簡素化が目的である。授業における適用について学んだ。

②大学ゴルフ授業研究会の活動について

講師：宮口和義氏（石川県立大学）、佐伯聡史氏（富山大学）

参加人数：16名（講師を含む）

2. 北陸体育学会との共同事業（公開シンポジウムの共催）

期 日：1月28日（日）13:00～14:30

会 場：石川県政記念しいのき迎賓館セミナールーム

主 催：北陸体育学会

共 催：（公社）全国大学体育連合北陸支部

内 容：

①講師：松村直樹氏（株）リアセック代表取締役

②司会：宮口和義氏（石川県立大学）

③演題：スポーツ系学生はなぜ就職に強いのか

1. 外部環境の変化が激しい企業の採用活動の現実やそれに伴う企業が求める人材要件について
2. 日本の大学における教育改革の流れ
3. 大学の学習成果の可視化の方法論とジェネリックスキルテストPROGの特徴
4. PROGに見るスポーツ系学生の特徴

定 員：100名

3. 公開シンポジウムの共催：北陸大学、北陸体育学会、日本武道学会北信越支部、（株）エイムとの共同事業

期 日：10月20日（土）10:40～12:35

会 場：北陸大学 松雲記念講堂

主 催：北陸大学

共 催：（公社）全国大学体育連合北陸支部、北陸体育学会、日本武道学会北信越支部、（株）エイム

後 援：石川県、金沢市、（株）ナルックス、サムライ金沢（株）

目 的：北陸地区において、「日本版NCAA」創設に関する講演会を実施し、学生や大学関係者、支援団体の理解と協力を高め、加盟校の増加、大学スポーツの活動及び、交流の発展に寄与する。

内 容：日本版NCAAの加盟に対して、各大学はYesかNoか。日本における大学のスポーツ事情と加盟の可否について聴講・議論し、大学スポーツの意義等の理解を深めた。

①演題：「改革」への思い —スポーツが変える。未来を創る。— ；鈴木大地氏（スポーツ庁長官）

意見交換会：大学スポーツの現状

②演題：大学スポーツの現状 —順天堂大学運動部の場合— ；和気秀文氏（順天堂大学）

③演題：大学スポーツ —慶應義塾大学の体育・スポーツ事情— ；村山光義氏（慶應義塾大学）

④司会：川端健司氏（北陸大学）

参加者数：500名 聴講者数は500名となり（一般聴衆を含む）、聴講席を680席準備した。

2.4) 支部研修会の開催：近畿支部

1. 実技研修会

期 日：11月24日（土）

会 場：キャンパスプラザ京都 龍谷大学サテライトオフィス

内 容：スポーツ実習系授業におけるリスクマネージとインシデント発生時の対応策

講 師：岡松秀房 氏（立命館大学スポーツ健康科学部）

2. 第1回講演会

期 日：6月23日（土）

会 場：キャンパスプラザ京都 立命館大学サテライトオフィス

内 容：ブランディングの視点から見た大学スポーツ改革の考え方

講 師：藤本淳也 氏（大阪体育大学）

3. 第2回講演会

期 日：11月24日（土）

会 場：キャンパスプラザ京都 龍谷大学サテライトオフィス

内 容：大学スポーツにおける評価方法の再検討

講 師：河井 亨 氏（立命館大学スポーツ健康科学部）

25) 支部研修会の開催：九州支部

1. 春期研修会「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」（九州地区大学体育連合との共催）

期 日：3月14日（火）、15日（水）

会 場：かんぼの宿 北九州（〒808-0123福岡県北九州市若松区大字有毛2829）

内 容：シンポジウムや一般発表など

シンポジウムテーマ：大学執行部が求める大学体育

演 者：大浦隆陽（福岡国際大学 学長）

演 者：飯干 明（鹿児島大学 副学長）

一般発表：11名

参加人数：42名

2. 夏期研修会（九州体育・スポーツ学会合同企画）

期 日：平成30年9月16日（日）

会 場：熊本学園大学（〒862-8680熊本県熊本市中央区大江2-5-1）

内 容：体づくり(回復)をめざしたストレッチおよびバランストレーニング

講 師：笠井妙美（東海大学）

企画代表者：則元志郎（熊本大学）、斉藤篤司（九州大学）

参加人数：16名

26) 支部による課題研究および研究誌の発行：東海支部

1. 課題研究

第1分科会：骨粗鬆症の予防に関する研究

—大学生の骨密度、身体活動量、体格、生活習慣に対する意識調査—

大学保健体育研究：第36号に投稿し掲載された。

「大学生の骨密度に及ぼす健康、体力、運動習慣について —高齢期における骨粗鬆症予防に関する研究—」

2. 研究誌の発行

『大学保健体育研究』第37号（平成30年3月発行）

27) 支部による研究誌の発行補助：九州支部

『体育・スポーツ教育研究』第19巻1号（平成30年12月発行）発行補助

II-2 【法人の管理運営に関わる事項】

1. 会議・運営に関わる事項の記録

(1) 総会、理事会、常務理事会、支部長会

2018（平成30）年 2月 9日 第1回常務理事会

2月 21日 第1回役員推薦委員会

第2回常務理事会

第1回理事会

3月 21日 通常総会

第3回臨時理事会

4月 14日 第4回常務理事会

5月 18日 第5回常務理事会

7月 13日 第6回常務理事会

9月 14日 第7回常務理事会

10月20日 第8回常務理事会
支部長会
第2回役員推薦委員会
第2回理事会

11月30日 第9回常務理事会

(2) 監査：総務部および監事

2018（平成30）年2月14日：平成29年度収支決算監査

(3) 事業運営関係記録

- 1) 内閣府への平成29年度事業報告(含む決算報告)の届け出(3月末日)
- 2) 事務所および事務の適正な運営
- 3) 会計処理(税務処理を含む)の執行(公認会計士へ支援を委託)
田畑副部長が会計を担当した。会計士との打ち合わせを1月26日に行った。
- 4) 各支部との連携
- 5) 会員管理
- 6) 定款と諸規則改正の検討
- 7) 機関誌・報告書のバックナンバー管理
- 8) 役員管理(法務局への手続き等)
- 9) 新法人制度の情報収集・事務処理
- 10) 内閣府への2019年度事業計画および予算の届け出(12月末日予定)
- 11) 内閣府からの立入監査への対応

(4) 支部運営記録

- 1) 北海道支部・支部総会
期日：2月10日(土) 会場：札幌国際大学
- 2) 北海道支部・支部運営委員会
期日：2月10日(土) 会場：札幌国際大学
期日：9月18日(火) 会場：札幌国際大学
- 3) 北海道支部・研修会実行委員会
期日：4月14日(土) 会場：札幌国際大学
期日：6月21日(木) 会場：北海道武蔵女子短期大学
期日：11月2日(土) 会場：札幌国際大学
- 4) 東北支部：支部総会
期日：12月17日(月) 会場：福島大学
- 5) 関東支部：支部運営委員会
期日：5月6日(土) 会場：国土館大学(世田谷キャンパス)
期日：12月23日(日)～24日(月) 会場：新潟県佐渡市
- 6) 東海支部：支部総会
期日：12月1日(土) 会場：愛知学院大学
- 7) 東海支部：運営委員会
期日：5月2日(水) メール審議
期日：6月2日(土) 会場：愛知学院大学
期日：12月1日(土) 会場：愛知学院大学
- 8) 北陸支部：支部総会
期日：6月21日～30日 メール審議
- 9) 北陸支部：運営委員会
期日：9月3日(月) 会場：やまじゅう 会議室
- 10) 近畿支部：支部総会

期日：11月24日（土） 会場：キャンパスプラザ京都 龍谷大学サテライトオフィス

1 1) 近畿支部：運営委員会

期日：6月23日（土） 会場：キャンパスプラザ京都 立命館大学サテライトオフィス

期日：11月24日（土） 会場：キャンパスプラザ京都

1 2) 中四国支部：支部総会

期日：5月 メール審議

期日：11月30日（金） 会場：IPU 環太平洋大学

1 3) 中四国支部：運営委員会

期日：9月10日（月） 会場：岡山大学

1 4) 中四国支部：全国研修会実行委員会

期日：3月28日（水） 会場：岡山大学

期日：4月25日（水） 会場：IPU 環太平洋大学

期日：5月17日（木） 会場：IPU 環太平洋大学

期日：6月19日（火） 会場：IPU 環太平洋大学

期日：6月22日（金） 会場：東兎が丘 GC

期日：7月9日（月） 会場：岡山大学

期日：7月18日（水） 会場：IPU 環太平洋大学

期日：8月1日（水） 会場：IPU 環太平洋大学

期日：8月16日（木） 会場：岡山大学

期日：8月21日（火） 会場：IPU 環太平洋大学

期日：8月22日（水） 会場：岡山大学

期日：8月27日（月） 会場：IPU 環太平洋大学（駅前キャンパス）

期日：9月5日（水） 会場：岡山大学

期日：9月10日（月） 会場：岡山大学

1 5) 九州支部：支部運営委員会

期日：3月14日（火） 会場：かんぼの宿 北九州

期日：9月16日（日） 会場：熊本学園大学

II-3 【収益事業】

収益事業として視野に入れている図書発行事業について、テーマ及び執筆者等の具体化に向けて検討した。

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成しておりません。